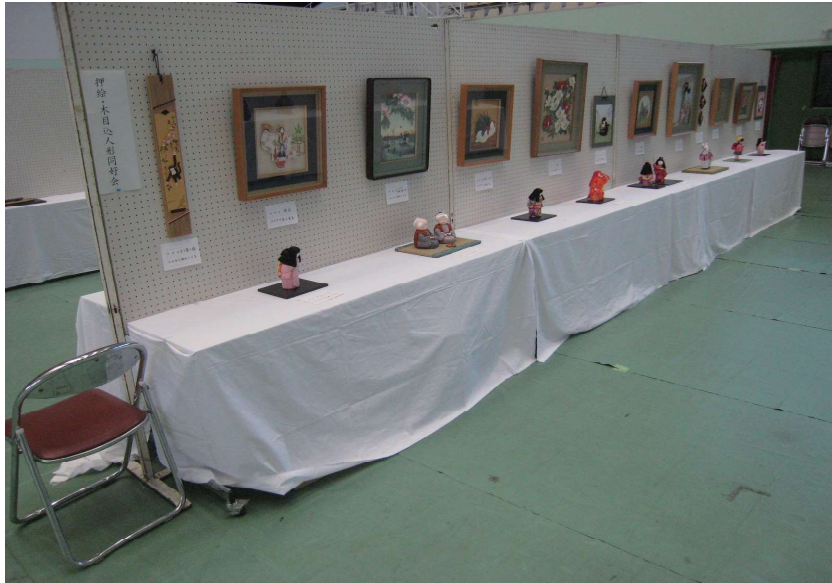


事業名	第11回 安曇野市穂高文化祭				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	183	154	運営謝礼、参加賞
	11	需用費	243	243	パンフレット印刷費
	13	委託料	300	298	会場設営、撤去
	合計		726	695	
実施日	平成27年11月1日～3日		会場	穂高会館（体育館・公民館）	
実施主体	穂高文化協会・穂高公民館		課・事務局	穂高地域課（穂高公民館）	
趣旨・事業概要	<p>各サークルや地域住民及び小・中学生の学習成果の発表の場として開催する。</p> <p>【対象者 穂高文化協会会員、穂高地域市民他】</p> <p>【参加人数 880 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 総合美術展（絵画・書・華道・彫刻等）、芸能祭（コーラス・合唱吹奏楽・民謡・詩吟等）、カラオケ発表会の開催</p> <p>○成果・効果 穂高会館の耐震補強改修工事が終了し、本年度から穂高総合体育館での総合美術展、穂高公民館講堂での芸能祭と従来の文化祭の開催ができ、大勢の市民の参加があり成功裡に終了できた。</p> <p>○課題・今後の展望など 穂高文化協会会員の減少、高齢化が課題となっている。</p>				
備考					



総合美術展



芸能祭

事業名	堀金一周駅伝大会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	250	250	大会景品
	11	需用費	9	7	協力者昼食
	13	委託料	33	33	バス運行委託・花火打ち上げ
		合計	292	290	
実施日	平成27年11月1日		会場	堀金地域全域	
実施主体	安曇野市		課・事務局	堀金地域課（堀金公民館）	
趣旨・事業概要	<p>地域の仲間が日頃培った練習の成果を9地区で競い合い、選手と沿道の地区住民が一体となって大会を盛り上げ、連帯感と士気の高揚を図る。（毎年開催）</p> <p>【対象者 堀金地域住民】</p> <p>【参加人数 選手200人・運営145人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9地区公民館対抗で、9地区を中継地点とした駅伝大会。 ・1.3kmのオープン参加部門の開催。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手、役員及び応援の沿道住民が一体となり、地区・地域の連帯感が高まった。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公道での駅伝であるため、選手・役員の安全管理が課題である。 				
備考					



事業名	三郷地域市民芸能発表会				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	309	412	三郷祭記念品、協力員役員謝礼
	11	需用費	17	17	プログラム印刷費
	13	委託料	197	197	会場パネル運搬設営業務委託
	14	使用料及び賃借料	507	507	照明借上料 暖房器具借上料
	合計		1,030	1,133	
実施日	平成27年11月7日		会場	三郷文化公園体育館アリーナ	
実施主体	三郷地域市民芸能発表会 実行委員会		課・事務局	三郷地域課（三郷公民館）	
趣旨・ 事業概要	<p>三郷祭事業の一環として、市民の文化の振興及び親睦を図るため実施する。</p> <p>【対象者 三郷地域市民】</p> <p>【参加人数 564人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 三郷地域で活動する芸能グループの芸能発表及び生涯学習活動の成果を発表した。(計18演目)</p> <p>市民に回覧するプログラムに「市制施行10周年記念」のタイトルを入れて周知するとともに、当日は会場に桃太郎旗を掲げた。</p> <p>○成果・効果 例年同様の盛況ぶりであった。</p> <p>○課題・今後の展望など 事業のマンネリ化が課題となっているが、プログラム内容を精査し、今後も継続事業として開催していきたい。</p>				
備考					



フラサークルの発表



上長尾獅子舞保存会の発表



バレエスタジオの発表

事業区分：冠事業（市民）

団体名 安曇野ふるさとづくり応援団

事業名	安曇野ふるさとさんぽ 2015 秋
実施期間	平成 27 年 11 月 8 日雨天中止、14 日雨天中止、 23 日（祝）、29 日（日）
開催場所	安曇野市内
実施内容	過去のふるさとウォッチングのリメイク版「ふるさとさんぽ」。 2015 年秋は雨天中止を除く 2 コースで開催し、和気藹々とした 雰囲気です満足度の高いウォーキングとなりました。
参加者数等	参加者 21 人



安曇野ふるさとづくり応援団

安曇野市制施行 10 周年記念

～ 大好評のふるさとウォッチングのリメイク版 ～

安曇野ふるさとさんぽ【2015 秋】

安曇野の原風景を巡るウォーキング「ふるさとウォッチング」をリメイク！
過去の人気コースを少人数で一緒に散策しませんか？

<p>【第 20 回】 湧水と本棟造の里 豊科重柳地区</p> <p>わさび田、八幡宮、 屋敷林を巡る</p> <p>11 月 8 日（日） 9:00 ～ 11:30 集合：安曇野の里 受付：8:45～9:00</p>	<p>【第 21 回】 勅旨牧の里 穂高牧地区</p> <p>栗尾道、馬頭観音、 諏訪大明神を巡る</p> <p>11 月 14 日（土） 9:00 ～ 11:30 集合：国営公園穂高口 受付：8:45～9:00</p>	<p>【第 22 回】 歴史と水郷の里 明科塔ノ原地区</p> <p>わさび田、雲龍寺、 犀宮社を巡る</p> <p>11 月 23 日（祝） 9:00 ～ 11:30 集合：御宝田遊水池 受付：8:45～9:00</p>	<p>【第 23 回】 段丘と屋敷林の里 堀金下堀地区</p> <p>拾ヶ堰、諏訪神社、 屋敷林を巡る</p> <p>11 月 29 日（日） 9:00 ～ 11:30 集合：扇町公園 受付：8:45～9:00</p>
--	---	--	--

事業区分：冠事業（市民）
 団体名 安曇野市サッカー協会

事業名	第8回 安曇野市長杯争奪少年サッカー大会
実施期間	平成27年11月21日、22日
開催場所	安曇野市営西穂高運動場・穂高西中学校グラウンド
実施内容	<p>・安曇野市内8チーム及び市外招待16チーム計24チームによる少年サッカー大会</p> <p>初日は各ブロック4チームの計6ブロックからなるリーグ戦。2日目は初日成績の上位8チームによるトーナメント戦。</p> <p>市制施行10周年を記念し、準決勝及び決勝戦は安曇野テレビで放映。</p> <p>特別アドバイザーとして元日本代表GKの瀬田龍彦氏を招き、テレビ解説及び優秀選手を16名選出する等大会全体の講評を行っていただいた。</p>
参加者数等	参加者 24チーム 511人



事業名		新そばと食の感謝祭			
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	19	負担金補助 及び交付金	7500 (商工会補 助のうち)	7500	会場設営・イベント経費
	合計		7500	7500	
	上記の補助金等を含めた事業の総額【15,000千円】				
実施日	平成27年11月14日、15日		会場	穂高神社周辺	
実施主体	実行委員会		課・事務局	商工労政課	
趣旨・ 事業概要	<p>新たなまちの賑わいの創出と、地位産業振興に寄与するため、平成25年度から商工会が中心となり、実行委員会を組織して企画・実施する事業</p> <p>【対象者 観光客・一般市民】 【参加人数 30,000人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <p>1.開催日時 平成27年11月14日(土)雨・15日(日)雨のち晴れ 開催時間 10:00～16:00</p> <p>2.開催場所 穂高神社特設会場及びその周辺（15日のみ穂高駅通り交通規制実施 9:30～15:30）</p> <p>3.主催 信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会</p> <p>4.主管 安曇野市商工会 ほかに共催、後援、協力あり</p> <p>5.キャッチフレーズ 「安曇野のうまいものを堪能する2日間！」</p> <p>6.来場者数 概算30,000人（14日10,000人 15日20,000人）</p> <p>7.開催実績</p> <p>1)穂高神社北神苑会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新そば販売ブース：8ブース×2日間 そば食数9,180食 （合わせて安曇漬物組合による生山葵のすりおろし提供実施、市内そば店マップの配布） ・旨いものブース：あづみ野どん販売 丼食数1,072食 ・スイーツコーナー：野菜スイーツ、そばスイーツ、安曇野銘菓販売 ・特産品販売：8店×2日間 ・ドリンクコーナー、キッズコーナー：青年部運営 ・足湯コーナー：長野LP協会松本支部運営 ・そば猪口アートコーナー、松本山雅FC特設コーナー <p>2)穂高神社南神苑・農林業まつり会場および本殿周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林業まつり：関係団体企業、友好都市など25店出店 ・豊穰宝船神前奉納、奉納野菜の配布：安曇野市農業再生協議会 ・米処安曇野 地酒を楽しむ会 ・ゆるキャラ会場回遊（アルクマ、りんご丸） ・ケロボンズとみずんの歌とダンス ・七五三歓迎 バルーンフォトフレーム、風船の無料配布 ・あづみ野エフエム 子どもDJ、チャレンジ号（14日のみ） <p>3)ステージイベント（北神苑会場）</p> <p>14日・開会式、消防喇叭隊演奏・大道芸・穂高商業高校吹奏楽部演奏</p> <p>15日・松本音楽団演奏・大道芸・松本山雅FCイベントトークショー</p> <p>4)穂高駅通り会場（15日のみ） ・キッチンカー7店・マルシェ（軽トラック市）13店</p> <p>○成果・効果</p> <p>3年目を迎え地域住民への認知度も高まり、安曇野の秋を象徴する地域振興イベントになってまいりました。安曇野ブランドの定着、発信にもつながっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新そばと地元産の食を中心としたイベントの開催で、安曇野の晩秋を市民や近隣からの観光の皆様にご満喫して頂くことができました。 ・特設会場内での新そば販売実食により、安曇野そば、わさびと市内で営業するそば店を広くPRすることができました。 ・安曇野の旨いもの（米、野菜、果樹、漬物、地酒、おやき、加工品など）の販売とPRができました。 <p>○課題・今後の展望など</p> <p>今回は悪天候により来場者数が目標値（40,000人）に達しなかったと思われる。また、JAあづみのJA祭と重なったことも影響していると考えられます。</p> <p>広報で呼びかけているもののシャトルバスの利用は思うように伸びず、会場周辺の駐車場不足も懸案であります。</p> <p>イベントとしての魅力向上を図るとともに、JAとの日程調整、来場しやすい対策（JRの有効活用など）を進めることで、地域も出店者も来場者も皆が満足するイベントにしていけることができます。</p>				



▼開会式（消防喇叭隊演奏）



▼ステージイベント（松本音楽団）



▼北神苑会場



▼南神苑会場



▼穂高駅通り（マルシェ&軽トラ市）



▼キッズコーナー（ふわふわ）

事業名	安曇野市農林業まつり				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	11	需用費	200	325	宝船制作・テント運営消耗品
	14	使用料	200	64	音響一式借上料
	19	補助金	3,508	3,508	会場設営他補助
		その他	332	36	調理委託料金他
	合計		4,240	3,933円	
実施日	平成27年11月14日、15日		会場	穂高神社	
実施主体	実行委員会 (安曇野市農業再生協議会)		課・事務局	農政課	
趣旨・事業概要	<p>市内地域農産物の紹介や販売拡大、生産者と消費者の交流を通じた生産者の経営意欲の向上、消費者が農業及び農産物への理解を深めることを目的に開催。また、生産者の生産意欲・技術の向上、農業振興と生産農家の農業所得の向上等の切っ掛けとして実施。</p> <p>【対象者 生産者・観光客・一般市民】 【参加人数 30,000人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 農産物の収穫祭として、豊穰宝船の展示、地元農家・業者・地元大学・高校の生徒・友好都市による販売テント運営（屋台・縄作り・松枯れ材再利用の実演他）、ステージ（ポン菓子実演・配布、ケロポンズステージ公演）を行った。雨天のため客足は鈍かったが、豊穰宝船に飾った野菜の無料配布には長蛇の列ができた。</p> <p>○成果・効果 農産物や加工品の販売、各種実演等を通して、安曇野の農林業をPRすることができた。テントを出展した地元農家や生徒にとっては、販売をとおして地域の住民と直接触れ合うことができる、良い機会となった。</p> <p>○課題・今後の展望など 農業者の積極的な参加を促し、農業者による出展テントを増やす。また、農業者による農林業祭り実行委員会の組織化を図る。</p>				
備考					



豊穰宝船



ステージ



ポン菓子実演



豊穰宝船野菜の無料配布



南神苑会場



販売ブース

事業区分：市民提案事業（補助）

事業名	安曇野にジブリの世界をつくる会 5周年記念コンサート		
事業概要	市制施行10周年記念イベントとして音楽イベント（コンサート、音楽会）を行った。 プロミュージシャン「ツヅリ・ツクリ」と「大竹 英二」を招致し文化面での向上に貢献した。		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	1,170,000円	広報宣伝費
	執行額	1,058,000円	広報宣伝費
	補助額	500,000円	
実施日	平成27年11月15日	会場	穂高会館（講堂）
実施主体	安曇野にジブリの世界をつくる会		
実施状況	<p>1 日時 平成27年11月15日 午後1時～</p> <p>2 対象者・参加者 安曇野市を主体とした地域住民</p> <p>3 具体的な内容・様子 午後0時30分開場で、約300人の方にご入場いただきました。 プロのミュージシャンには、スタジオジブリ制作アニメに関係のある楽曲を中心に演奏していただき、沸かせました。</p> <p>4 成果・効果 子供たちに人気のアニメ楽曲で会場は一体となり、情操を育むことができました。</p>		
備考	大変な苦勞もありましたが、地域の活性化に役立てて良かったです。		



安曇野市制施行10周年記念

安曇野にジブリの世界をつくる会 5周年記念コンサート

笠原 芳子
笠原芳子音楽教室を主宰。演奏ステージを幅広く持ち各地でのソロコンサートを開催している。数多くの場でより広域なレベルステージをめざし、その真価を発揮している。

大竹 英二
2001年10月ハーモニカフェスティバル(D'Addario)でBlues/Rock/Folk/Country部門優勝。日本人2人目のハーモニカ世界チャンピオン。TVドラマ「名探偵コナン(実写版)」や映画「ふるまじがえり」(観望家)等のBGMに参加。NHK連続テレビ小説「梅ちゃん先生」で音楽軍人として出演。

ツツリ・ツクリ
ミアノ(安曇野市の音楽発表会)と「ハロウ・ウィッチャー」(山手樹世(てん)の二人)からなるデュオユニット。2014年「ココロコトばね」(内田大祐・高野アツシ)バンド「ココロコトばね」(チーム)に出演。毎年5月、毎年2月に渋谷O-ayoでソロライブコンパニオンツアーを行い、大成功を収める。また、Youtubeに公開しているカバーオリジナル動画の総再生回数が500万再生を突破。ツツリの音楽が元来の人の心に響く。全うな、活動の輪を広げている。
◆「コンサートミュージシャン」アコースティックギター：笠原 芳子、バイオリン：坂本 悠史

安曇野ジブリ子ども合唱団
ジブリの曲を仲良く、楽しく、きれいに歌うことを目的として小中学生を対象に合唱団を2012年結成。

第1部
笠原芳子エレクトーンソロ演奏
ツツリ・ツクリコンサート (4人バンド)

第2部
安曇野ジブリ子ども合唱団発表
大竹英二ハーモニカソロコンサート

日 時：2015年11月15日(日) 開場12:30 開演13:00
会 場：安曇野市穂高会館 講堂
 安曇野市穂高5047 Tel.0263-82-5970 (託児有り)
入場料：大人 1,000円 / 子供 500円 / 幼児 無料
 (高校生以上) (小・中学生)

■主催：安曇野にジブリの世界をつくる会 ■協賛：安曇野市・安曇野市教育委員会・穂高町日新堂社・市民タイムス・松本タウン情報あつみ野テレビ
 お問い合わせ：090-4390-0187(コンサート専用)
 安曇野にジブリの世界をつくる会事務局：〒399-8205 安曇野市穂高 5925-2 カフェエンゼル内

事業名	「安曇野の文化と和の暮らし」着物を見直そう		
事業概要	安曇野の新旧の着物の展示と、着物と健康に関する講演会		
事業費		金額	主な支出内容
	予算額	570,000 円	講師謝礼、印刷消耗品費
	執行額	503,000 円	講師謝礼、印刷消耗品費
	補助額	500,000 円	
実施日	平成 27 年 11 月 17 日～ 平成 27 年 11 月 23 日	会場	安曇野高橋節郎記念美術館主屋
実施主体	安曇野きもの集		
実施状況	<p>1 日時 展示 平成 27 年 11 月 17 日～平成 27 年 11 月 23 日 講演会 平成 27 年 11 月 22 日 13:30～15:30</p> <p>2 対象者・参加者 一般のべ 300 人（うち講演会 100 人）</p> <p>3 具体的な内容・様子 安曇野に残る昭和初期の婚礼衣裳の展示 現在の安曇野の手織り着物の展示 安曇野の天蚕糸を使用した着物の展示 安曇野の手描き友禅作家の着物と帯 江戸時代の機と糸車の展示 絹や着物の体への効用について、きもの文化研究家による講演</p> <p>4 成果・効果 歴史的な安曇野の着物文化への理解が深まった。 現在の安曇野の着物文化の知識が深まった。 着物のよさを伝えることができ、着物への関心が高まった。</p>		
備考	（感想、今後の展望など） 来場者の多さから、着物への関心の高さを実感した。今後は安曇野きもの集と上田や長野などの着物関連の方々と協力して活動する予定。全国に発信していく。		



展示の様子



↑
約 100 名のお客様が来場した講演会
↓



事業名	平和のつどい及びアオギリの植樹				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	11	需用費	274	274	演台生花、文集印刷費
	13	委託料	564	564	植樹式委託料
	14	使用料及び賃借料	1,019	1,019	平和のつどい会場使用料
		その他	156	133	広島市長旅費
		合計	2013	1,990	
実施日	平成 27 年 11 月 21 日			会場	本庁舎 安曇野スイス村サンモリッツ
実施主体	安曇野市			課・事務局	総務課
趣旨・事業概要	<p>市制施行 10 周年をアピールするため、平和のつどいの看板、パンフレットなどの配布物に「市制施行 10 周年」の文字を冠し、記念講演として広島市長の講演を行う。</p> <p>また、記念植樹として「被爆アオギリ 2 世」の植樹を行う。</p> <p>【対象者 平和のつどい参加者 600 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子 市歌の斉唱や広島市長の講演など、10 周年を冠した事業に相応しい内容となった。</p> <p>アオギリの植樹に合わせて安曇野市平和都市宣言の銘板除幕も行い、当初の予定以上に安曇野市の平和事業をアピールする場になったと思われる。</p> <p>○成果・効果 サンモリッツの大ホールに用意したイスがほぼ満席になるほど多くの方に来場いただいた。</p> <p>広島市長の、経験を基にした講演をお聴きできたことは、会場にお越しの方々や、運営側の職員にとって平和について考える非常に良い機会となったと思われる。</p> <p>○課題・今後の展望など アオギリを大切に育て、安曇野市の平和の象徴として次世代に受け継いでいくことが必要であると考えます。</p>				
備考					



被爆アオギリ 2世 植樹式



安曇野市平和のつどい

事業区分：市民提案事業(協働)

事業名	安曇野市子ども文化祭				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	8	報償費	30	26	参加記念品
	11	需用費	70	64	消耗品・パネル展消耗品
	合計		100	90	
実施日	平成27年11月28日		会場	穂高交流学習センター「みらい」	
実施主体	安曇野市教育委員会		課・事務局	生涯学習課	
趣旨・事業概要	<p>子ども達だけの文化祭。 ステージ発表、作品展示、体験交流などを行い、日頃培ってきた技術、能力の発表の場とする。また、同世代の発表を見て、いろんな分野に触れ合うことのできる場とする。</p> <p>【対象者： 市内在学・在学の園児～高校生】 【参加人数： 300人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表の部 11団体 (ダンス・太鼓・バレエほか) ・作品展示の部 4団体 (書道・絵画ほか) ・体験交流の部 2団体 (囲碁・将棋) <p>○成果・効果</p> <p>子ども達が発表する場、機会を設けられたことは、出演者、参加者に喜んでいただくことができた。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>来場者は目当ての団体のみ観覧するだけで、他の団体の発表を見ずに帰ってしまい、観覧者の来場人数にばらつきがある。出演する子ども達も、他の団体の発表を観覧するよう促す必要がある。</p>				
備考					



子ども映画教室常念チーム ステージ挨拶



子ども映画教室穂高チーム ステージ挨拶

事業名	光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	08	報償費	1,612	1,185	専門講師謝礼、植栽協力者謝礼、植栽者記念品
	13	委託料	1,117	2,230	生育管理委託、伐採業務委託、送迎バス運転委託
	14	工事請負費	2,725	1,100	植樹関係工事（工事請負費から委託料へ 1,110 千円流用）
		その他	2,471	1,926	桜苗木、保険料、消耗品等
		合計	7,925	6,441	
実施日	平成 27 年 11 月 28 日			会場	光城山
実施主体	光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト 安曇野市			課・事務局	地域づくり課
趣旨・事業概要	<p>光城山は桜の名所として親しまれているが、その桜は老木化が進み、開花する桜が乏しくなっていた。そのため、平成 26 年度に本プロジェクトを設置し、市民と行政が協働により桜の植樹や維持管理、また、周辺自然環境の保全、地域の歴史・文化の伝承等に取り組んでいる。</p> <p>平成 27 年度は市制施行 10 周年を記念し、公募した多くの市民により光城山に桜を植樹することで、地域の里山に関心を高めるとともに、郷土愛を育み、市の一体感の醸成を図る。</p> <p>【対象者 安曇野市民】 【参加人数 約 480 人】</p>				
実施状況	<p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念セレモニーにて、記念植樹を行った。また、植樹に参加する保育園・幼稚園年長児から中学生までの児童・生徒に「10 年後のわたしへ」と題した手紙を作成してもらい、タイムカプセルに収納して設置した。 ・公募市民により光城山山頂付近に 300 本の桜（神代曙）を植樹した。 ・光城山に生息する樹木や、地域の歴史文化を記したパンフレットを作成し、植樹参加者へ配布した。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の企画・準備段階から、市民と行政が協働により、自主的・主体的にそれぞれの役割を担いながら取り組みが進められ、今後のまちづくりの協働の基盤ができた。 ・植樹には小さいお子さんから高齢者まで多くの市民に参加していただき、光城山への関心を高め、その魅力を周知することができた。また、郷土を愛する心を養うことができた。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植樹した桜の維持管理が今後の課題。プロジェクトで引き続き検討を進める。 ・長期に渡り、継続できる里山保全体制を構築し、協働の取り組みを各地へ広げていく。 				



(記念植樹の様子)



(設置したタイムカプセルに土を被せます)



(多くの市民参加で植樹しました)

事業名	安曇野市芸術文化協会芸能フェスティバル				
事業費 (千円)	節	節名称	予算額	執行額	主な内容
	合計		0	0	
実施日	平成27年11月29日		会場	穂高交流学習センター「みらい」	
実施主体	安曇野市芸術文化協会連絡協議会		課・事務局	生涯学習課	
趣旨・事業概要	<p>市制施行10周年記念事業として、市内各地域の芸術文化協会芸能部が一堂に会し、ステージ発表を通じてお互いの交流を深め、市民の皆様に楽しんでいただくことを目的とする。</p> <p>【対象者 一般 ・ 安曇野市芸術文化協会芸能部】</p> <p>【参加人数 100人】</p>				
実施状況	<p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域の芸術文化協会の様子が見え、数多くの発見がありました。 実行委員のみならず、出演者も共に皆さんが心をついにできました。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> 出演者ではなく、一般の来場者がどのくらい来場されたかが疑問に残る。 午前と午後の来場者数に大きな差がみられた。 芸能部門にはさまざまな団体があるので、舞踊部門、楽器演奏部門、謡曲部門など部門ごとに分けて、発表する必要がある。 				
備考					

発表の様子

